



かさばり
重ね梁

杉並区^{しもいぐさ}下井草5丁目にありました。
昭和48(1973)年に杉並区に寄贈
され、平成元(1989)年、郷土博物館
の敷地内に移築する際、建築当初の
状態に復原されました。間取りの
形式や構造などから、建築年代は
^{かんせい}寛政年間(1789～1800年)と推定
されています。

篠崎家は下井草村の平均的な^{ほん}本
^{びやくしやう}百姓層の農家でした。当住宅は、武蔵
野平野部の古い開発村の典型的な
農家の住宅として、重要な意味を
持っている文化財です。土日祝日の
午後には、いろりに火を入れてお客
様をお迎えしています。



いろり

きゆうしのざきけじゆうたくおもや
旧篠崎家住宅主屋
杉並区指定有形文化財(建造物)